

6月12日から
6月議会始まる

2月議会に続き一般質問はありません 代表質問のみ 金子、やなぎ、廣田議員が行います

代表質問の主な項目

- 新型コロナ対策について (担当する議員)
 - (1) 感染者への医療提供状況について (や)
 - (2) 相談窓口の業務と体制について (や)
 - (3) 介護老人保健施設での感染について (や)
 - (4) DV対策について (や)
 - (5) コロナ感染症に関する医療体制について (廣)
 - (6) 特別定額給付金の現状及び生活保護の方への対応 (廣)
 - (7) 緊急経済対策について (廣)
 - (8) 公民館など公共施設の今後の対策について (廣)
 - (9) 今後の市政運営の方向性について (金)
- 市政運営について (金)
 - ・スーパーシティ構想に対する市の考えについて
- 清掃行政について
 - (1) 家庭ごみの収集回数の変更について (廣)
 - (2) リサイクル家具の運搬用車の貸し出しについて (廣)
 - (3) 清掃労働者の処遇及び危険手当の検討について (金)
- 教育行政について (廣)
 - ・教職員の指導のあり方について
- 国民健康保険について (金)
 - (1) すべての市民に正規保険証を発行することについて
 - (2) 子育て支援として均等割の減免を検討できないか
- 買い物弱者対策について (金)
 - ・大町地区のスーパー閉店に伴う買い物難民対策について

6月12日から6月議会が始まります。新型コロナ対策が重要課題になっているなかで、2月議会と同様に、代表質問のみという議会運営となりました。代表者会議や議事運営委員会で、共産党など3会派は「一般質問は議員の権利だ」と主張しましたが、賛成多数で一般質問なしとなりました。(終了は22日予定)

市議団は、代表質問が金子議員、補足をやなぎ議員、廣田議員が行います。傍聴も自粛となり、インターネットでご覧になってください。

6月議会の特徴

6月議会の議案では、コロナ対策で、市職員の特殊勤務手当の支給や専決処分での「NPO法人など4000件に対する給付金支給対象の拡大」などがあります。しかし、補正予算で20億円が組まれた「キャッシュレス決済普及促進事業」は問題があります。市内の店舗でキャッシュレス(電子決済)で買い物をした場合に、10%分のポイントを付与するというものです。これは利用が一部の方に限られ、子どもやスマホを持っていない高齢者など、また、現金のみで商売をされている店舗などは、まったく対象となりません。市川市でポイントをつけても、利用は市外どこでも可能で市内経済の活性化にはつながりません。市民からも疑問の声があがっています。共産党は反対します。

日本共産党市川市議団

議会報告

2020年6月発行 第321号

市川市役所内 共産党控え室

047-334-1111 (内線 4591)